

節電要請の見直しの方向性等について

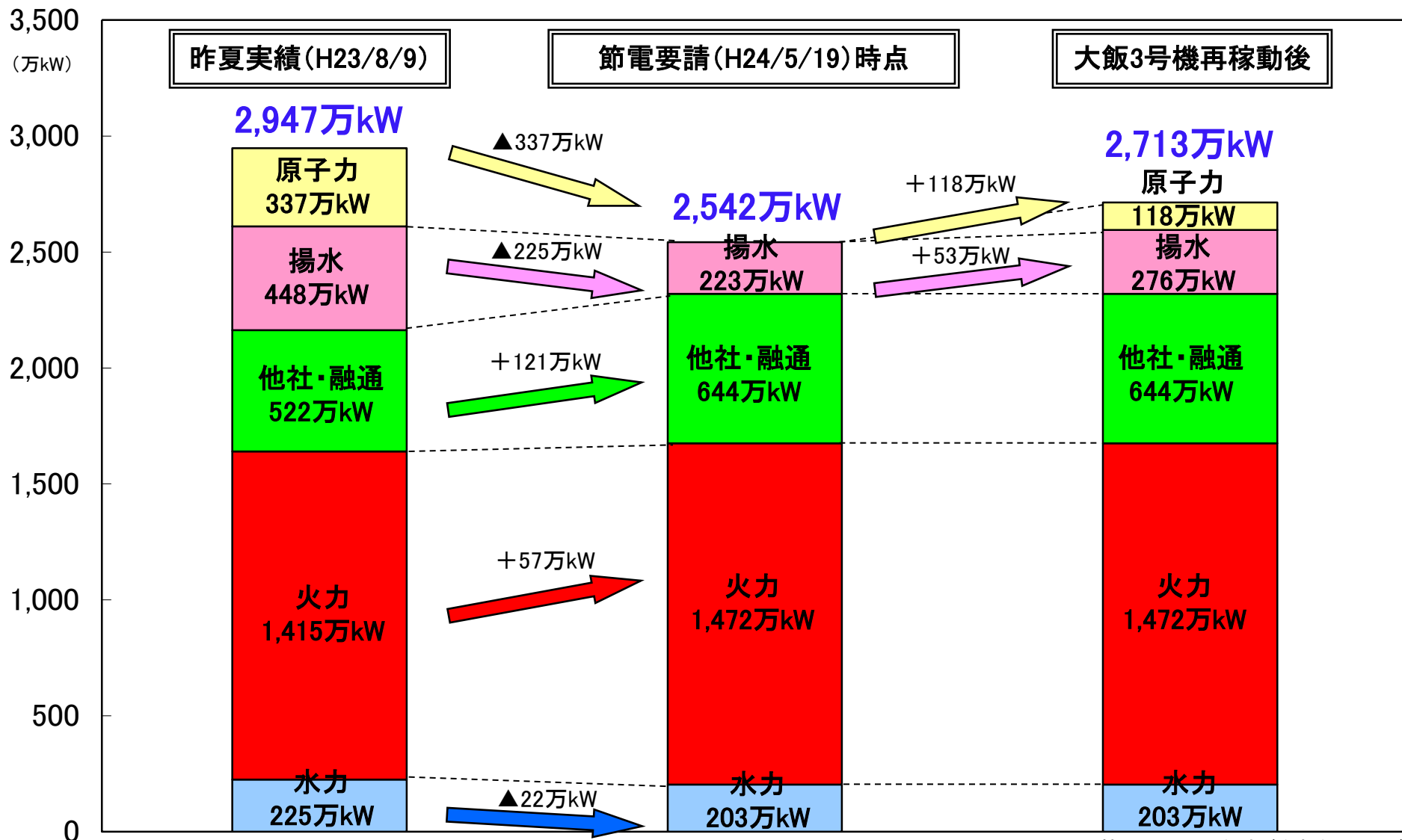
(大飯発電所3号機再稼動を踏まえて)

平成24年7月6日
関西電力株式会社

供給力確保の状況(8月)

○節電要請(H24/5/19)時点の供給力は、2,542万kWでした。

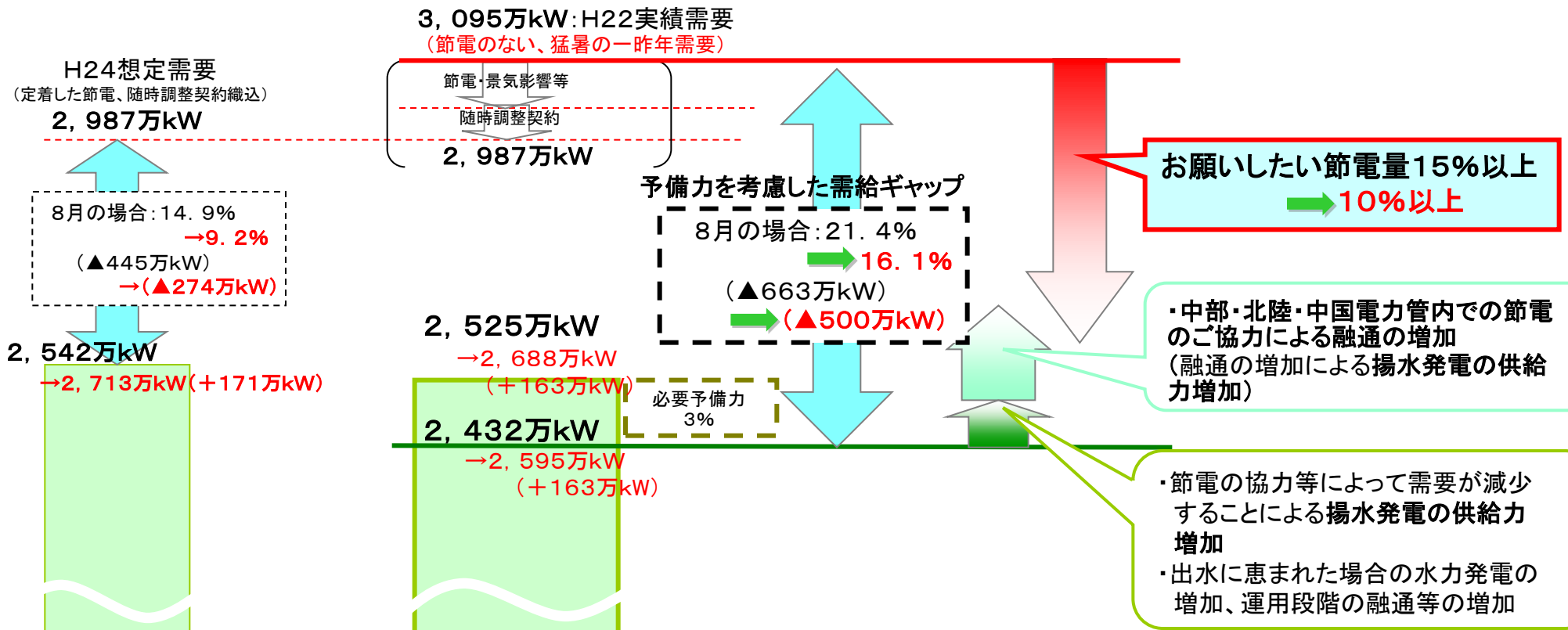
○大飯3号機の再稼動により、原子力(118万kW)・揚水(53万kW)の供給力が増加するため、今夏の供給力は、171万kW増加し、2,713万kWとなる見通しです。



※四捨五入のため合計が合わないことがあります。

節電をお願いする量の考え方(案)

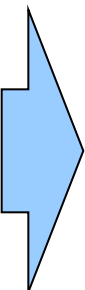
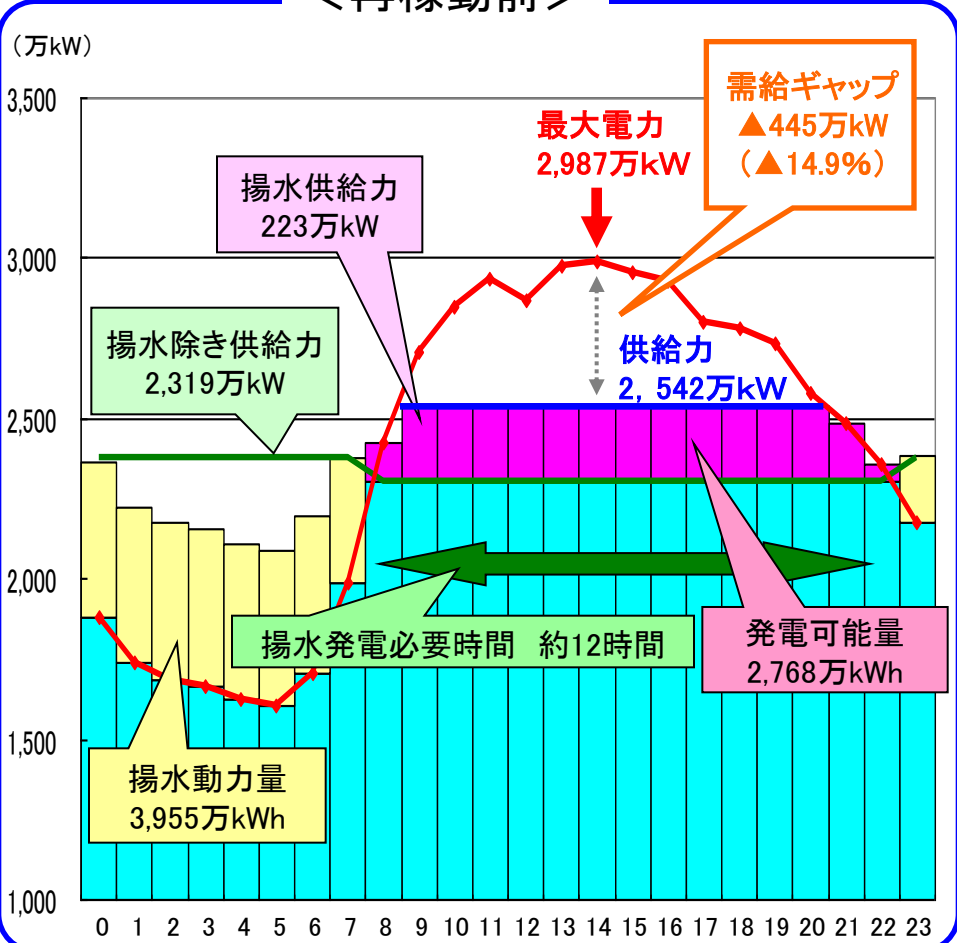
- 想定需要は定着した節電等を織り込んでいることから、お客さまの節電前の実績である平成22年夏季使用最大電力を基準としております。
- 予備力等を考慮した需給ギャップを解消する取組みが必要ですが、節電等により需要が減少した場合の揚水供給力の増加や、運用段階での応援融通などによる供給力確保の効果等を考慮した水準に、国の調整による中部電力・北陸電力ならびに中国電力管内での節電のご協力による融通の増加を見込み、平成22年夏季使用最大電力から**10%以上**の節電をお願いしたいと考えております。
- 節電をお願いする量(現行:15%以上→今回:10%以上)は、**大飯3号機の稼動が確実となる時期(発電が開始され、定格熱出力一定運転となった段階)**をもって、変更させていただきます。



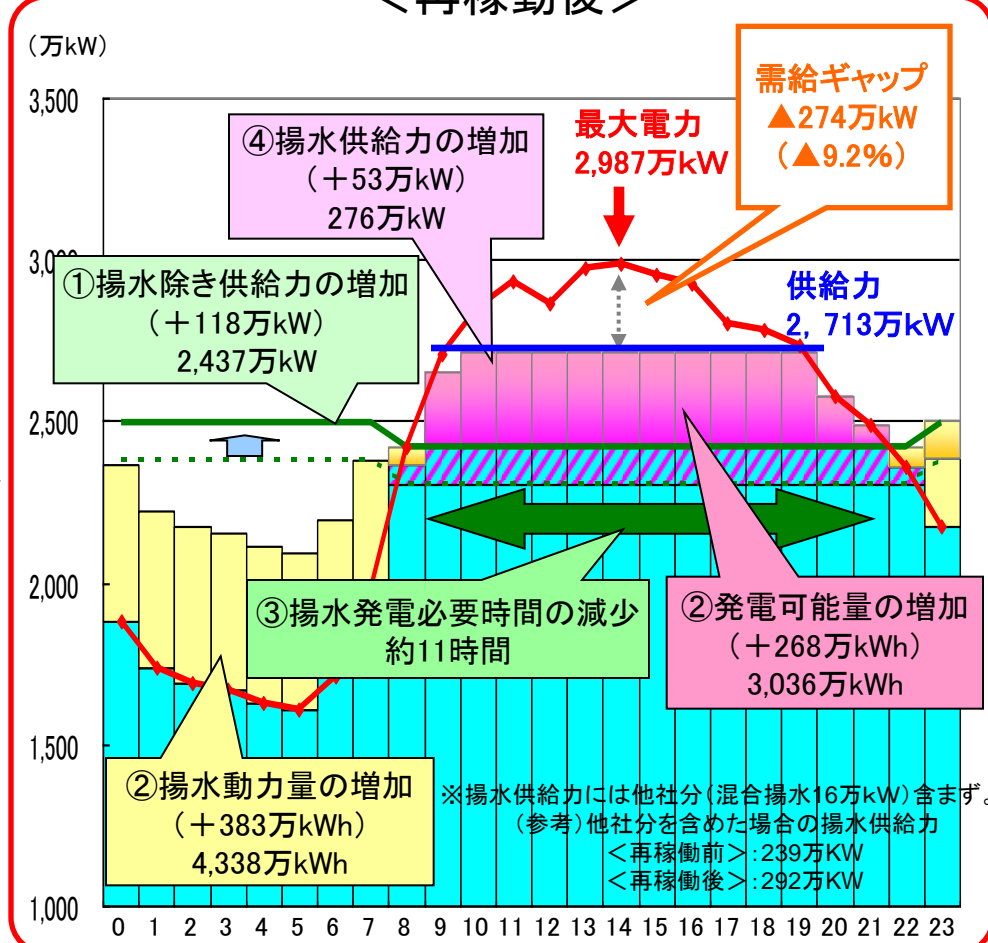
大飯発電所3号機の再稼動に伴う揚水供給力の増加と需給ギャップの状況

- ①大飯3号機の再稼動に伴い、揚水を除いたベース供給力が増加いたします(+118万kW)。
 - ②夜間を含めたベース供給力の増加に伴い、上池に汲み上げ可能な水量(揚水動力量)および時間が増加し、揚水発電可能量が増加いたします(+268万kWh)。
 - ③また、夜の汲み上げ時間が長くなり、昼間の揚水発電時間が減少いたします(約12時間 → 約11時間)。
 - ④その結果、揚水発電可能供給力が276万kWまで増加いたします(+53万kW)。
- 原子力(118万kW)と揚水(53万kW)による171万kWの供給力増加により、需給ギャップは改善し、
▲445万kW(▲14.9%)から**▲274万kW(▲9.2%)**となります。

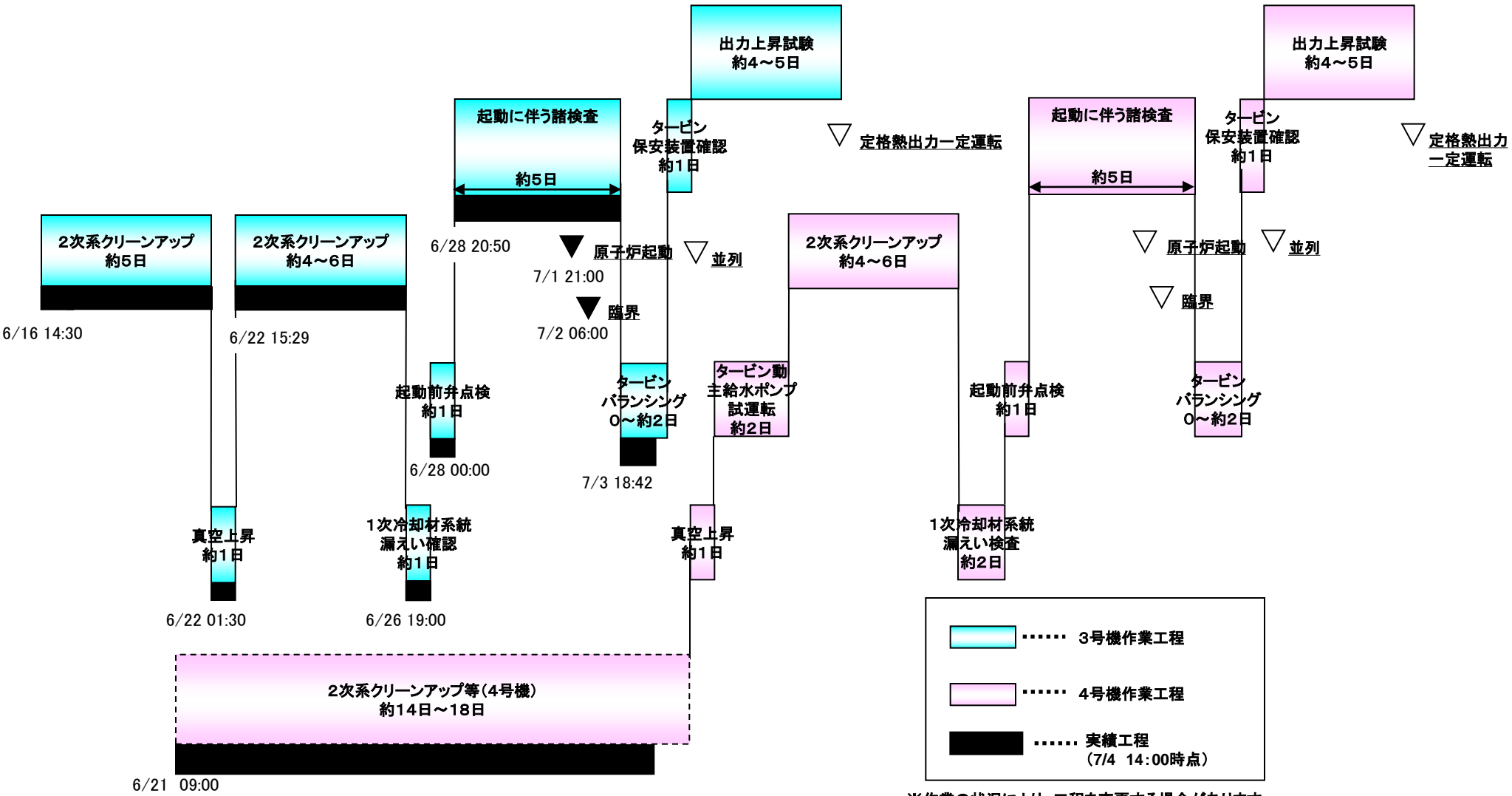
＜再稼動前＞



＜再稼動後＞



大飯発電所3号機、4号機の作業工程



※作業の状況により、工程を変更する場合があります

需給ギャップ改善に向けた当社の取組み状況について

平成24年夏の需給ギャップ改善に向けた当社の取組み(1/3)

■ご家庭のお客さま

※実績については、7月3日時点
(引き続きPR・加入拡大に向けた取組みを継続)

項目	内容	平成23年夏季 (実績)	平成24年夏季
個別PR	パンフレット	約54万部	5月19日以降、順次、配布 もしくは設置中 (期間中、昨年と同程度の数量を予定)
	ポスター／店頭チラシ	ポスター:約2万部 店頭チラシ:約35万部	
	全戸チラシ／検針票[裏面利用]	約1,200万軒	約1,200万軒
	垂幕掲示(弊社事業所)	9箇所	28箇所
	街頭でのPR	約250回	約340回(予定)
	はぴeみる電の懇懇(検針WEB)	約8,300件	申込受付:約85,700件 (累計:約223,200件)
新たな料金メニューの設定	「季特別電灯PS」の設定 ピーク時間以外の時間帯へ負荷移行を 促進	— (昨夏、昨冬 未実施)	加入件数:約5,700件 <参考> 申込受付件数 :約11,900件 コンサル中の件数:約 1,500件 申込取消件数 :約 4,700件
節電インセンティブ施策	お申し込みいただいたお客さまのうち、 平成24年7～9月分の電気使用量 (kWh)の合計を、平成23年7～9月分 の電気使用量(kWh)の合計と比較し、 削減率に応じてQUOカードを進呈。	— (昨夏、昨冬 未実施)	申込受付:約122,000件
小学生節電チャレンジ	小学校にてチャレンジシートを配布。 家庭での節電への取組みを計画し、取 組結果を事務局に送付いただく。	— (昨夏未実施) (昨冬配布:約110万枚 うち応募数:約6,100件)	7月6日以降小学校へ配布予定 (今夏配布予定:約110万枚)

平成24年夏の需給ギャップ改善に向けた当社の取組み(2/3)

※実績については、7月3日時点
(引き続きPR・加入拡大に向けた取組みを継続)

■法人のお客さま(1/2)

項目		内容	平成23年夏季 (実績)	平成24年夏季
訪問等の状況		お客さま(500kW以上)訪問	約7,000件	約7,000件
		お客さま(500kW未満)への ダイレクトメール送付	約11万件	約11万件
		業界団体さまへの訪問	産業用:89団体 業務用:45団体	産業用:74団体 業務用:51団体
随時調整契約	瞬時調整特約	当社の供給設備の事故、予想外の需要の急増による電力需給逼迫時に強制的、もしくは当社からの通告で負荷を遮断することに対し電気料金を割引	24件 約37万kW	24件 約36万kW
	通告調整特約	当社からの通告により、翌日に実施される大幅な負荷抑制に対し電気料金を割引	4件 約1万kW	105件 約5万kW
	随時調整契約の合計 ※随時調整契約kWは契約値		28件 約38万kW	129件 約41万kW
計画調整特約	休日特約	休日の振替や新たな休日の設定など、1日単位での負荷調整	約1,700件 (対象:約7,000件)	約3,300件 (対象:約7,000件)
	操業調整特約	プラントの補修や長期休日の設定など、週単位での負荷調整	約100万kW(注)	約171万kW(注)
	ピーク時間調整特約	空調機器の一部停止や自家発の発電増加など月単位での負荷調整	(注)計画調整特約kWは、日毎の契約調整電力合計値の最大値	(注)計画調整特約kWは、日毎の契約調整電力合計値の最大値
需給調整	デマンドカットプラン (需給調整特約S)	最大需要電力が前年同月の最大需要電力を下回る場合に、それに相当する電気料金を割引	約61,000件 (対象:約110,000件) 約53万kW(注) (注)前年同月の最大需要電力と当月の最大需要電力との差であり、結果としてご協力いただいた数値。	約76,900件 (対象:約110,000件)

平成24年夏の需給ギャップ改善に向けた当社の取組み(3/3)

※実績については、7月3日時点
(引き続きPR・加入拡大に向けた取組みを継続)

■法人のお客さま(2/2)

項目	内容	平成23年夏季 (実績)	平成24年夏季
アグリゲーター等活用	BEMSアグリゲーターとの協業によるピーク抑制 (依頼タイミング:需給逼迫が予想される日の前日の午後)	— (昨夏、昨冬 未実施)	18事業者より応募あり 約820件 約1.1万kW <small>(注)応募段階の数値であり、 現在、契約に向けて調整中</small>
ネガワットプラン	需給逼迫時にお客さま側で負荷を抑制していただける電力(ネガワット)を入札により募集 (依頼タイミング:需給逼迫が予想される日の前週の金曜日から前日までの間で、追加的な負荷調整が必要とされる日毎に入札を実施)	— (昨夏、昨冬 未実施)	14件の登録
管外のお客さまとの ネガワット取引	他電力、アグリゲーターにご協力をいただき、当社管外の大口のお客さまとネガワット取引を実施し、これによって生じる他電力の供給余力を融通送電いただくもの (依頼タイミング:需給逼迫が予想される日の前週の金曜日から前日までの間で、追加供給力が必要とされる日毎に入札を実施)	— (昨夏、昨冬 未実施)	実施に向け、アグリゲーターが 管外のお客さまと契約に向けて 協議中